

「モノ認識」と「モバイル」を中心に
IoTで世界を変える

IoT × **AsReader**  Digital Transformation

事業計画及び成長可能性に関する
事項について記載した書面

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2024年11月



◆免責事項

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

◆今後の開示

当資料のアップデートは今後、毎年11月末日を目途として開示を行う予定です。

1. 企業情報

- (1) 会社概要
- (2) 経営理念

2. ビジネスモデル

- (1) 事業内容
- (2) 連結業績推移
- (3) 2024年8月期の経営成績

3. 市場環境

- (1) 市場規模：バーコード
- (2) 市場規模：RFID
- (3) 市場規模：画像認識

4. 成長戦略

前期成長戦略の振り返り

- (1) 既存主力事業
- (2) 新製品の開発／販売
- (3) 営業力の強化
- (4) 海外展開

5. 事業計画

- (1) 経営指標（KPI）
- (2) 2025年8月期業績予想
- (3) 新株予約権の発行／調達資金の用途

6. リスク情報

1. 企業情報



会社名	：	株式会社アスタリスク
設立年月日	：	2006年9月1日
資本金	：	8億608万円（2024年8月31日現在）
本社所在地	：	大阪市淀川区木川西二丁目2-1
国内事業所・営業所	：	大阪、東京、名古屋、滋賀
海外拠点（子会社）	：	大連（大連事務所、深セン事務所）、ポートランド
従業員	：	111名（グループ計、2024年8月31日現在）（注）
経営陣	：	代表取締役執行役員社長 鈴木 規之
		取締役 加藤 栄多郎
		取締役 中川 陽介
		取締役 山本 和矢
		社外取締役 辻本 希世士
		取締役（監査等委員） 石田 泰一
		社外取締役（監査等委員） 岩崎 文夫
		社外取締役（監査等委員） 山元 教有

（注）最近1年間の平均臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む。）32名を含んでおります。

経営理念

ITを通じて、三方笑顔（お客様の笑顔/社員の笑顔/世間の笑顔）を創造し、人類・社会の進歩発展に貢献します

- 1、自己の良心をもって、信頼と安心を築き、三方笑顔を創造します
- 2、早さを追求し、スピードあふれる行動をもって、三方笑顔を創造します
- 3、新しいIT技術、斬新なサービスをもって、三方笑顔を創造します

アスタリスク人の宣言

- 1、プロとしての熱意！
- 2、徹底の徹底！
- 3、土俵の真ん中で相撲をとる！
- 4、時間軸を第一に！
- 5、目的、ねらい、コンセプトの明確化！
- 6、夢のある提案をし続け、固定客化！
- 7、何事も「数値」をもって行動！
- 8、常に明るく前向きで、楽しむことを工夫する！



2. ビジネスモデル



「モノ認識」と「モバイル」のアスタリスクです。

ITを通じて皆様の会社を笑顔にするお手伝い



人や情報、あらゆる物を認識する技術、それを「モノ認識」と呼んでいます。

“画像認識”や“バーコード”、“RFID”、“センサー”、“AI”などの技術を駆使した「モノ認識」と、スマートデバイス等の「モバイル」を活用することで、多種多様な業態でDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現をサポートします。

モノ認識

主力商品

バーコードリーダー



RFIDリーダー



IrDA (自動販売機)



展開中

画像認識



AI



センサー



現場の業務をスマートフォンへ集約をすることで、 効率化を実現します！



機器の管理も多くて大変

スマホによる 現場DX

対投資効果を最大にする



スマホ1台で業務が完結！
機器の集約でコスト削減も

超簡単！

◆誰でも直観的に操作が可能
慣れたスマホで、研修の必要もありません。

ある催事では、2,000人の短期アルバイトの方の
使用端末をスマートフォンにしたところ
研修時間もゼロで業務の実施が可能に。
それまではマニュアル作成などの事前準備や
研修会の実施などに膨大な時間が…



超便利！

◆専用機よりスマホアプリのほうが便利
画面があることで視覚的な操作が可能になったり
さまざまな機能をくみあわせて使えたり。

- ・インカムアプリでは
録音や文字起こしの機能が付加され、見直しも可能に！
- ・報告業務では
ある検査業務を行う現場では、スマホで写真を撮り
音声入力でコメントを入力。報告書がその場で完成！



(1) 事業内容



トヨタ自動車



川崎重工業



ブックオフ



アルペン



青山商事



ノーリツ



ほくやく



武蔵野ロジスティクス



ユカ



ルビー



国際空港上屋



丸一網管

国内、海外、
大企業様で
続々導入して
いただいています。



長谷工コーポレーション



カーポートマルゼン



コンフェックス



パロー



大塚商会



SBS即配サポート



中部食品



大阪警察病院



三重大学医学部附属病院



近畿大学病院

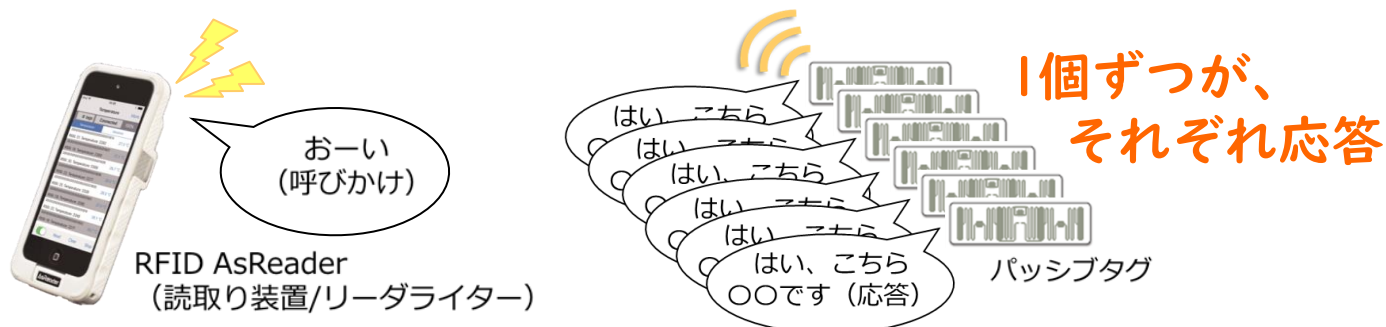


セコメディック病院



大手運送業

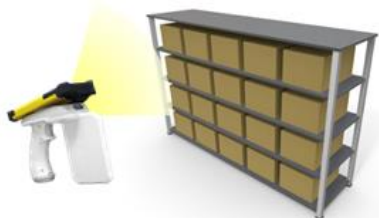
RFIDとは… 「Radio Frequency Identification」 の略
電波を用いてRFタグのデータを非接触で読み書きするシステム
電波が届く範囲であれば、タグが遠くにあっても読み取りが可能



あらゆるモノにRFタグがつけられることで、
モノまたは人の様々な状況変化を的確に捉えることが可能となります。

非接触通信

遠くのタグも読み取れるので高いところのタグ等も読み取り可能！
作業時間の短縮はもちろん、
作業者の安全確保にも繋がります。



一括読み取り

複数の商品が入っていても一括での読み取りが可能！
バーコードのようにひとつひとつ読み取る必要がありません。



透過性

箱などを開けなくても読み取り可能！
作業効率が大幅にアップします。



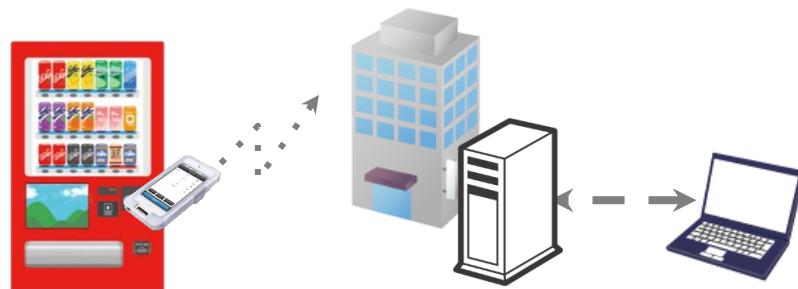
赤外線通信とは…赤外線を利用した近距離データ通信。
自動販売機内の販売情報を取り出す際に使用されています。

- ◆ 自動販売機設置事業者向けに特化した赤外線通信AsReader
自動販売機業界の販売情報を赤外線通信により読み取り、
取得したデータをインターネット通信回線を使用してサーバー等へ送信することが可能



＜実際の使用事例＞

自販機からの取得データを
直接、サーバー等へ送信。

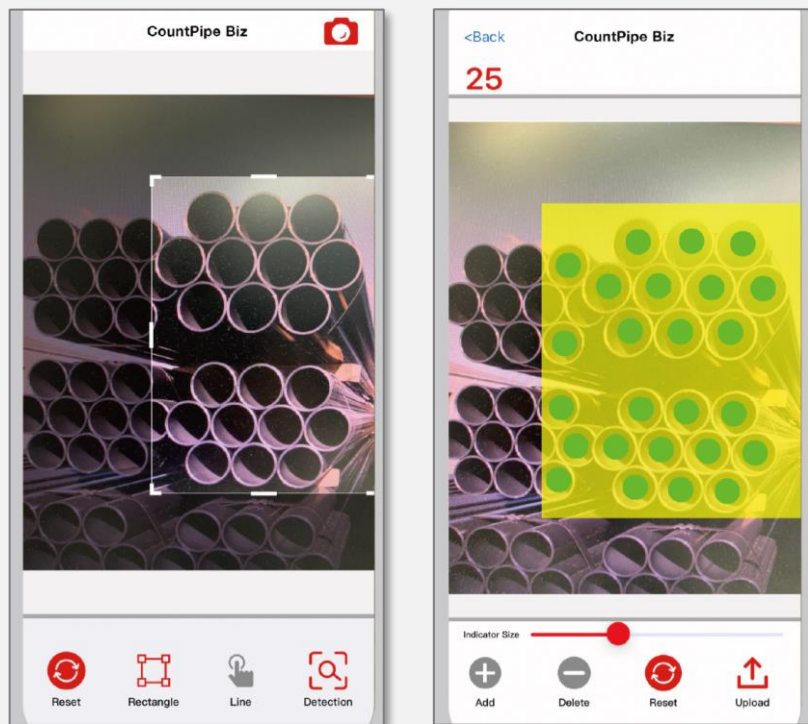


リアルタイムで最新情報の確認が可能。

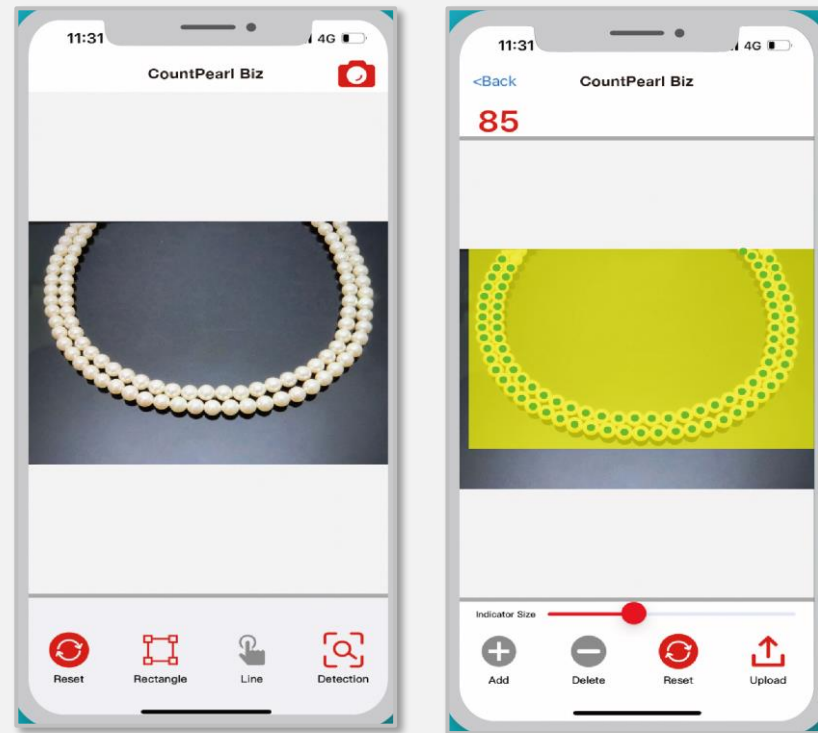
リアルタイムでデータ送信ができるなど今までの問題点を解決した上に、
迅速なデータ分析や顧客対応が可能に。
複数の大手飲料メーカー（ベンダー）や自販機オペレーター各社で導入され、
ハードだけでなく自販機設定用ソフトウェア開発もあわせてご提供しています。

数量カウント

- ① 今まで目視でカウントしていたものが、瞬時にカウントできます
- ② 範囲を指定でき、必要に応じて結果を修正することも可能です
- ③ 対象物にあわせたアプリの開発も可能です



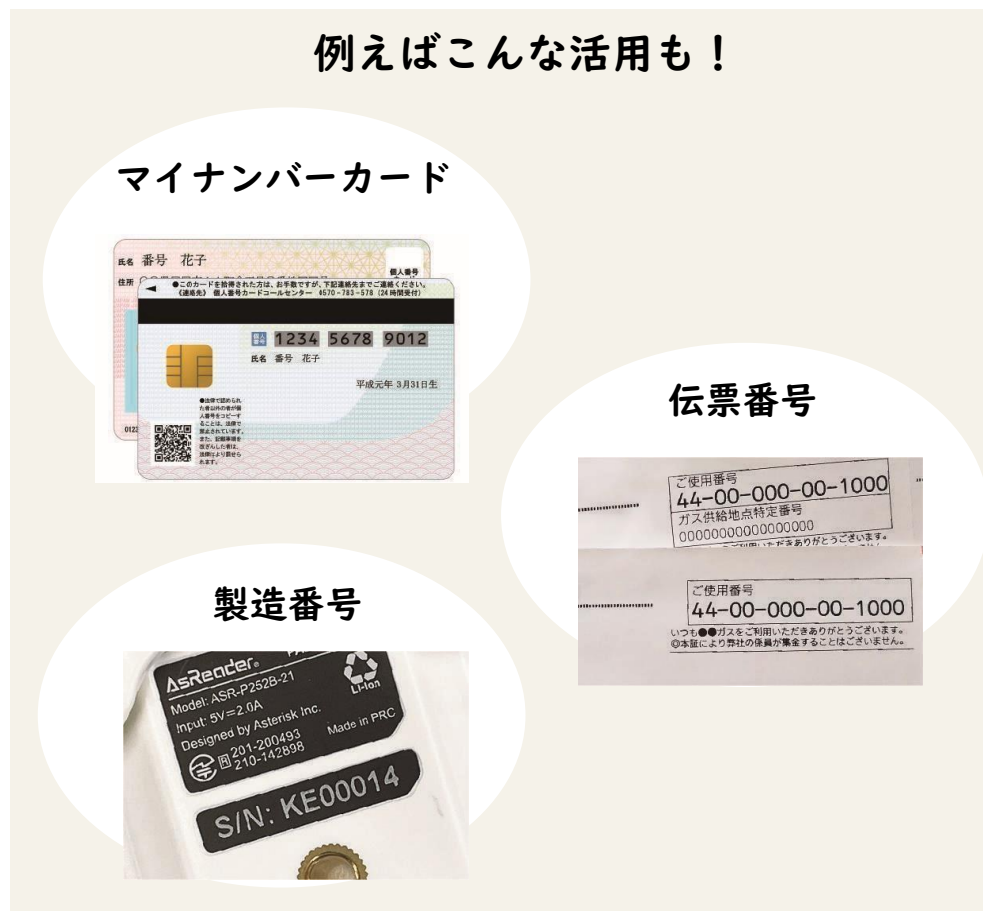
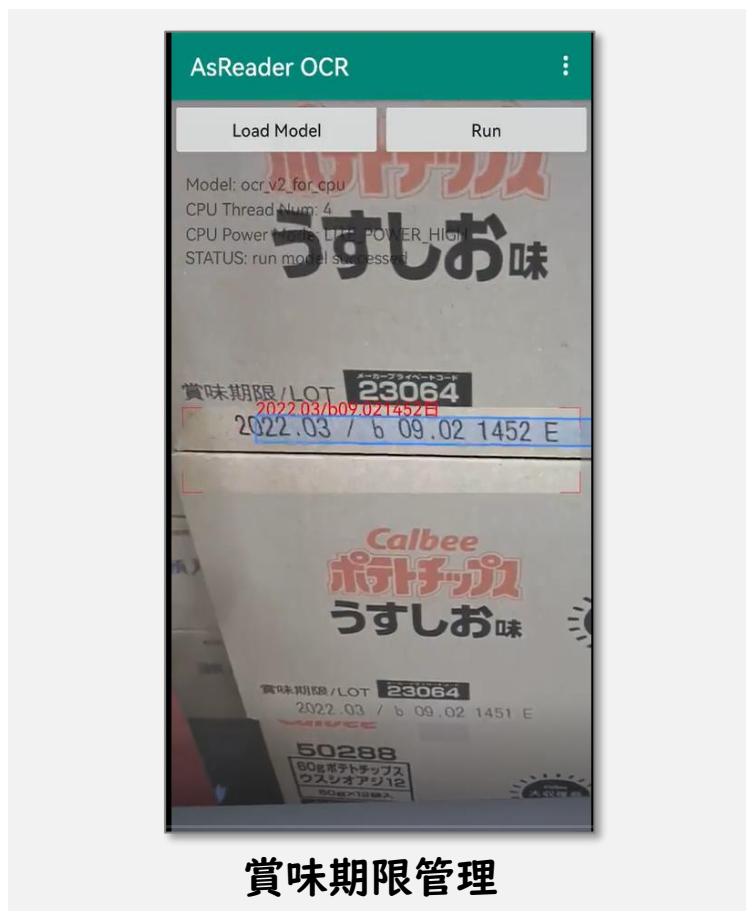
パイプカウント



パールカウント

文字読取 (OCR)

- ① スマートフォンのカメラで撮影した文字・数字をテキスト化します
- ② 独自の解析技術を用い、高速かつ正確に認識できます。
- ③ 在庫管理や出荷時の許容切れ確認など、ミスのない作業をサポートします！



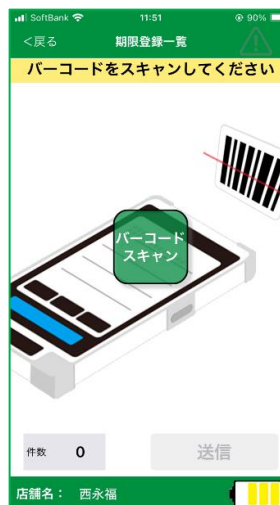
賞味期限 管理

スマホカメラのOCR による賞味期限管理で検品精度が劇的改善！
「期限徹底管理」「作業工数削減」「フードロス削減」を実現します！

- ① スマホのカメラを利用し、賞味期限をOCRで読取ります
- ② AIを活用することで、さまざまな表示形式に対応できます
- ③ 万が一、賞味期限切れの商品場合は、画面にアラートが表示されます
- ④ 循環方式で従来の作業時間の8割が削減可能
- ⑤ スマホでの作業なので、直感的、簡易に作業できます。



バーコードと
賞味期限を1台で読取り



前捌き

前捌き端末でレジの行列を解消します！

- ① レジ待ちのお客様の商品を読み取り、POSへ連携できます
- ② POSではQRコードを読むだけですので、大幅に時間が短縮されます
- ③ 繁忙期や込み合う時間帯など、状況に応じて対応することができます



レジ待ちのお客様の
商品バーコードを読み取
り



読み取った内容を
1つのQRコードへ





アスタリスクの顔認証

顔認証は、端末のログインから入退場管理、
決済、会員証とそのポイント管理まで、
幅広い用途で活躍しています。
安心の「未来」を「今」体感してください。
新しい時代のスタンダードを、顔認証が切り拓きます。

手軽に使えて高セキュリティ、
顔認証が提供する次世代のスタンダード

顔認証技術を活かしたハードウェア セキュリティを強化した「AsReader GoMA Home / GoMA Professional」



エッジ（端末）側で顔認証をすることによりネットワークなしで手軽に利用可能な家庭やSOHO向けの「AsReader GoMA Home」と、ホテルなどの大型施設でのご利用を考慮して、たくさんのドアの解錠管理や期限付き鍵の解錠コントロールを可能にした「AsReader GoMA Professional」を発表します。

写真や動画、マネキンなどでの「なりすまし対策」も大幅に強化し、セキュリティー面でも強力なものとなっております。ご家庭やSOHOなどでの少人数でのご利用から、ホテルや大型施設などでの大規模なご利用まで、多種多様な場所に活用いただけるものとしてご案内いたします。

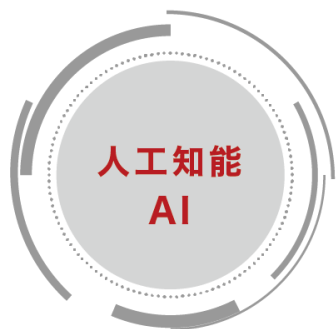
革新的で新しい見せ方／より効果的な商品アピールと顧客体験の向上

- ①新しい商品・人の見せ方
これまでにない方法で商品や人を展示することにより、話題性を喚起し、来店機会の増加を図ります。
これにより、売上拡大が期待されます。
- ②立体感のある展示
立体的な表現が可能となり、お客様はあたかも目の前で実物を見ているかのような感覚を味わえます。
- ③透明ショーケースとのコラボレーション
透明ショーケースを活用することで、実物と映像を組み合わせた展示が可能。より魅力的な商品アピールを実現。



[モノ認識] = 自動認識 + α

アスタリスクでは、いわゆる自動認識に、画像認識 (AIとその学習法を含む) やセンサーなどのデータキャプチャ技術まで加えた広い概念として”モノ認識”という視点で製品開発を行っています。



リニアモーター技術を活用した搬送システム HAKOBU



商品名：AsReader HAKOBU（アズリーダーハコブ）

商品の概要：リニアモーターを備えたパネル状の「基盤部」と荷物などの物品を搬送するための「トレー部」とで構成されます。コントローラは、基盤部に配置したそれぞれのコイルを制御することによりトレー部を稼働させます。

基盤部の特徴：リニアモーターを組み込んだ基盤部は、臨機応変に組み立てて設置が可能なように「タイル状」として提供を予定。搬送するためのトレーは電源などをもたないため充電の必要性なども全くなく縦横に加え回転運動をすることが特徴であり、かつ複数を同時コントロールが可能です。

AsReader 事業

AsReader® : 当社製品のブランド名

◆ 「自動認識技術を使った製品・サービス」の開発・販売

スマートフォンやタブレットなどに代表されるモバイル機器による業務改革をコンセプトに、モバイル機器に装着して使用するバーコードリーダーやRFIDリーダーなどのハードウェアの開発・販売を中心に事業を展開。



ハンディタイプ



GUNタイプ



iPhoneやAndroid等の
スマートフォンに装着し使用

AsReader® 新製品ラインナップ

Android用バーコードリーダー
ASR-A24D-SX2




鍵持出返却管理システム
As Key Cube



RFIDリーダーライター
PADDLE-Type



撮影および認証装置
AsReaderGoMA




「人物特定&認証」のクラウドサービス
AsReader One

特許取得済
第7320887号



物の重さを自動的に測り
何を選択したか瞬時に把握
重量センサー



AsReader 事業

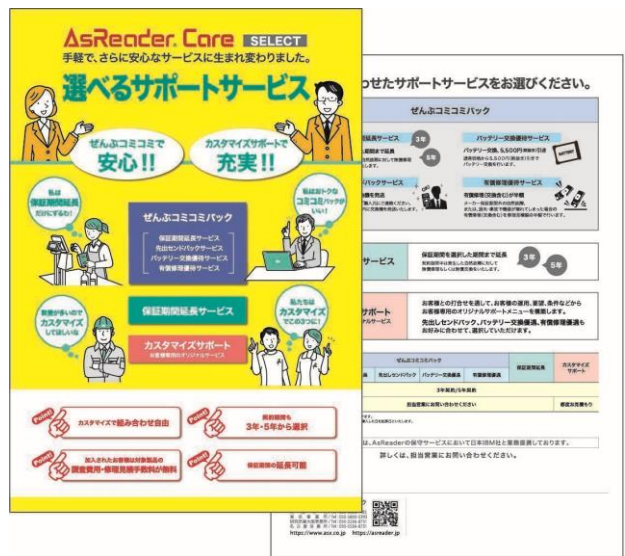
◆ ストックビジネス

● 保守売上

AsReaderの販売拡大に伴う保守による売上。一部の大型保守案件の契約が満了となったため、前年からは減少し、2024年8月期保守売上実績は62百万円となりました。

● アプリライセンス売上

AsReaderの運用をサポートするためのアプリ「AsReaderApps」のライセンス使用料による売上。AsReaderAppsはAsReader標準対応の業務アプリになります。このアプリを使用しなくともAsReaderの活用は可能ですが、システム開発の必要がなく、すぐに導入・運用が可能となります。2024年8月期アプリライセンス売上実績は24百万円となりました。



AsReader Care SELECT
 手軽で、さらに安心なサービスに生まれ変わりました。
 選べるサポートサービス

ぜんぶコミコミで 安心!! カスタマイズサポートで 充実!!

ぜんぶコミコミパック
 標準機能延長サービス
 パナソニック連携サービス
 有償延長サービス

保証期間延長サービス
 カスタマイズサポート

AsReaderの保守サービスについて
 本サービスは、AsReaderの保守サービスを提供するためのサービスです。
 本サービスは、AsReaderの保守サービスを提供するためのサービスです。
 本サービスは、AsReaderの保守サービスを提供するためのサービスです。



AsReader Apps

- AsZai (在庫管理)
- AsCount (棚卸)
- AsReport (データ収集)
- AsRegi (売上管理)

AsReader 事業

◆ スtockビジネス

● AsReader CAMERA-Type

スマートフォンのカメラで素早くバーコードを読み取るソフトデコーダー。スマートフォンのカメラを使用でも専用端末に匹敵する性能を保持しております。

● AsReader GoMA

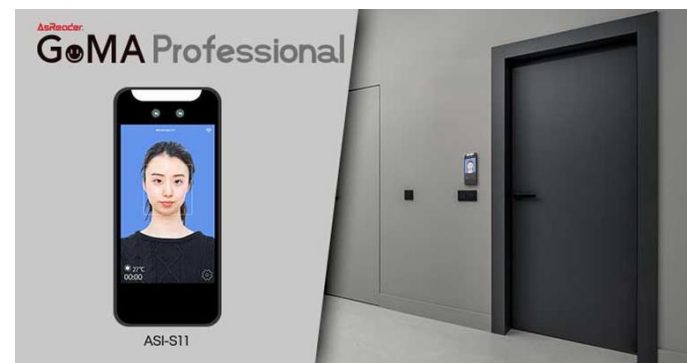
顔認証で扉の鍵を開く新製品になります。

2024年9月に新モデルの販売を開始。継続課金モデルで展開しております。

● 新製品 『S d e c (エスデコ)』

スマホのカメラを利用し、賞味期限をOCRで読取る新製品になります。

2024年8月期に販売を開始。継続課金モデルで展開しております。



【Apple社認定商品：MFi】

フルスペル：Made For iPhone, Made For iDevices

読み方：エムエフアイ

別名：Apple MFi

MFiとは、AppleのiPhoneやiPod向けにサードパーティが製造した周辺機器（アクセサリ）類のために用意されたAppleの認可制度およびロゴの呼び名である。



AppleはiOSデバイスの周辺機器を製造販売するサードパーティ向けに一連の技術資料を提供している。これらの仕様に準拠した製品は審査を経てMFiに認可される。MFiは、所定の性能や品質基準を満たした製品であるという保証と位置づけられるため、サードパーティ製品とはいえある程度の信頼性がある（粗悪品ではない）


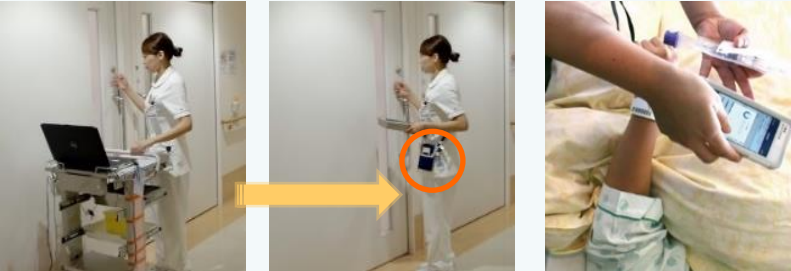
と判断できる。多くはAppleの正規品よりは廉価であるが無認証の製品よりは高めの価格帯で販売されている。

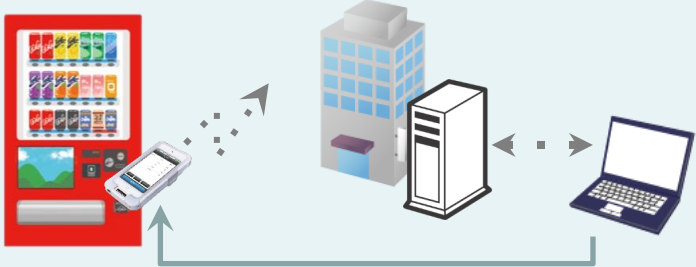
【電波法（RFID）】




（1）ユーザーの免許

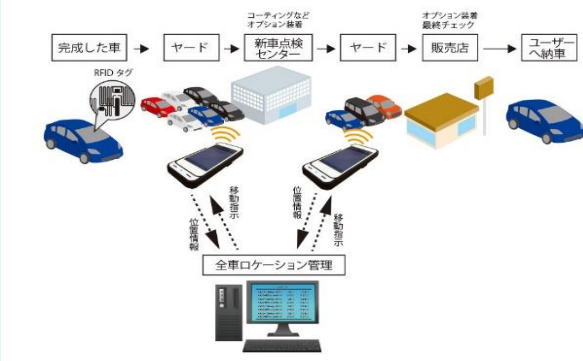

（2）機器メーカーの免許（構内無線局及び特定小電力無線局）

- ・技術基準適合証明（技適） 国内では、RFID機器は一部の無線局を除き、無線機器扱いとなり、指定の機関で電波法令 で定めている技術基準に合致した機器であることを証明することが義務付けられている。
- ・工事設計認証（型式認定） 高周波利用設備機器対象のRFID機器は、工事設計認証（型式認定）を受けることで、ユーザは 総務大臣の設置許可なしに設置が可能となる（同一製品の大量生産時に有効）。
- ・微弱無線局 発射する電波が著しく微弱な無線局は、電波法令で規定された以下の電界強度値が指定された機関の証明があれば免許なしで設置することができる。 但し、電力伝送が必須なRFIDでは 交信距離が短い。

業界	利用シーン
<p>小売 業界</p>	<p>POS（「Point Of Sales」（販売時点情報管理）の略）レジや発注業務、在庫管理などで利用されております。</p> 
<p>医療 業界</p>	<p>看護業務での3点照合（担当看護師、患者のID、薬剤）や、薬剤のピックアップなどに利用されております。</p> 

業界	利用シーン
<p>自動 販売機 業界</p>	<p>自動販売機設置事業者向け赤外線通信リーダーを開発、リアルタイムでデータ送信することにより、迅速なデータ分析や顧客対応に利用されております。</p> 

業界	利用シーン
物流業界	<p>配送管理の現場で導入され、リアルタイムで配送状況の把握や受領証などの書面を電子サインによる電子帳票化などに利用されています。</p> 
	<p>配達業務の現場で導入され、配達ドライバーが鍵の持ち出し、返却を行う際の管理にRFID技術を活用したソリューションの仕組みが利用されています。</p> 
	<p>食料品の賞味期限管理の現場で導入され、商品に印字されているOCRによる賞味期限情報と商品のバーコードを使用した出荷業務に利用され、賞味期限に関する作業エラーの削減に役立てられています。</p> 

業界	利用シーン
製造業界	<p>在庫管理、新車搬入管理、生産ラインの点検、部品の調達から廃棄までの追跡などに利用されています。</p> 
	<p>積み上がった鋼管の個数を数える現場において、鋼管の個数を画像認識技術を用いたアプリで計数し、目視による数え間違いなどのトラブルの防止に役立てられています。</p> 

システムインテグレーション事業

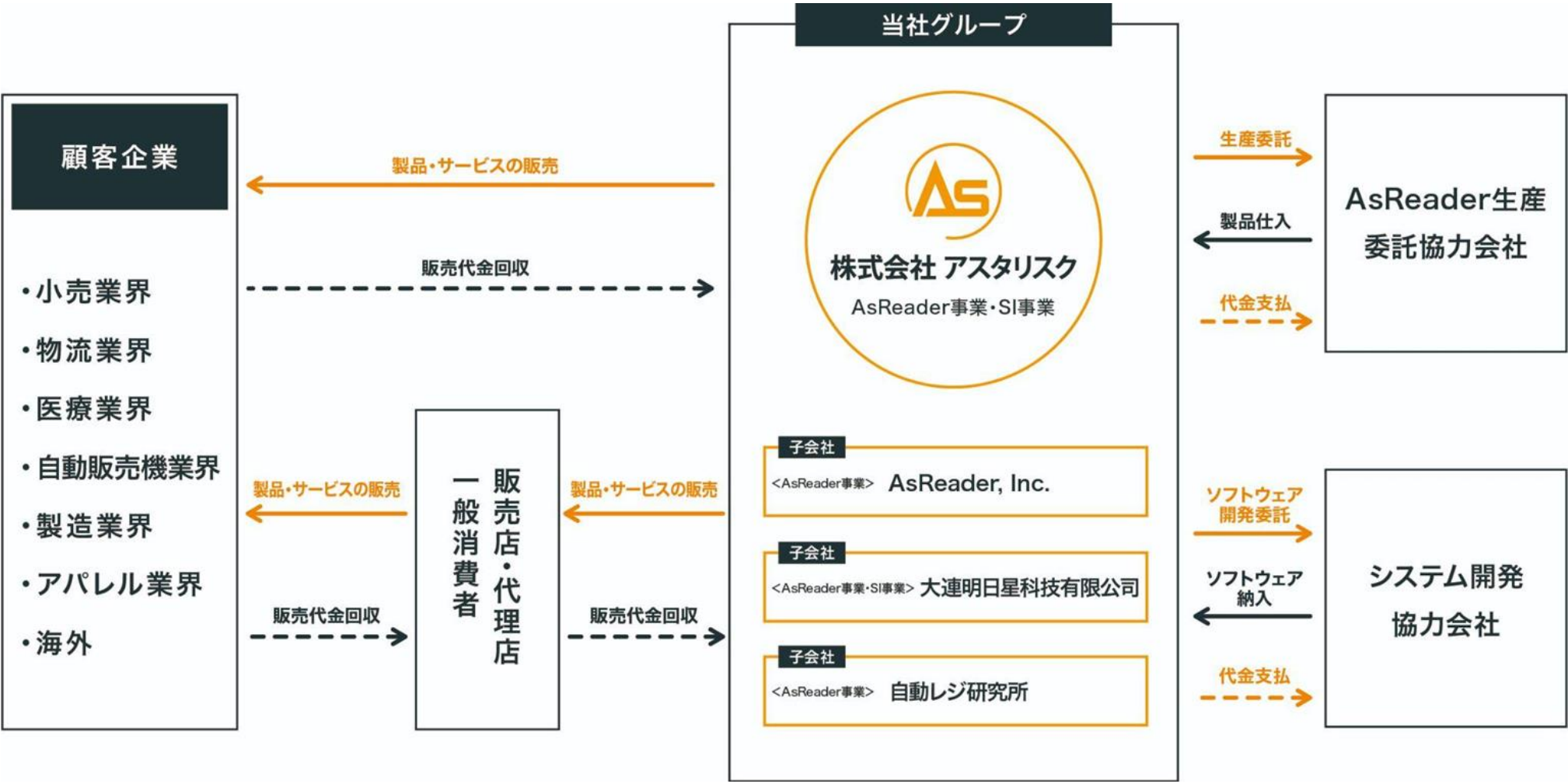
- ◆ ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなどを組み合わせて、ユーザーに最適なシステムの構築を推進

モバイル端末で使用するアプリケーション及びネットワークなどを連携させ一体化することで、業務のスマート化を推進し、業務の効率化に貢献しております。

また、当社グループが提供したアプリケーションやシステムについて、運用・保守・管理も実施しております。



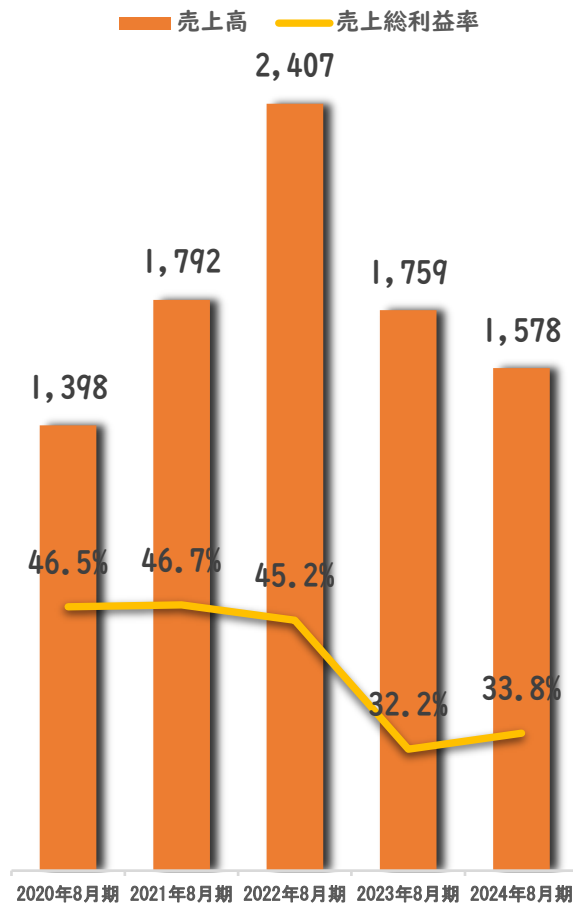
事業系統図



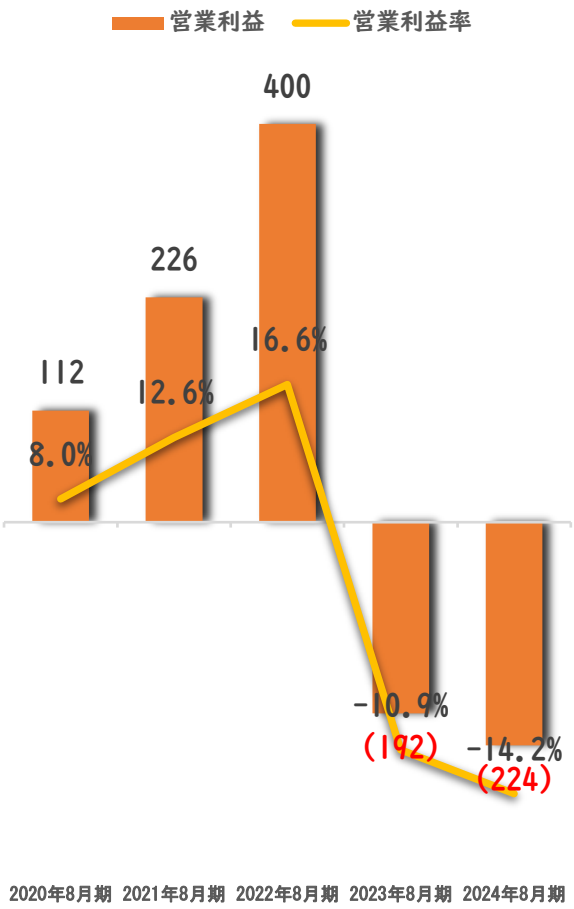
【連結業績推移】

(単位：百万円)

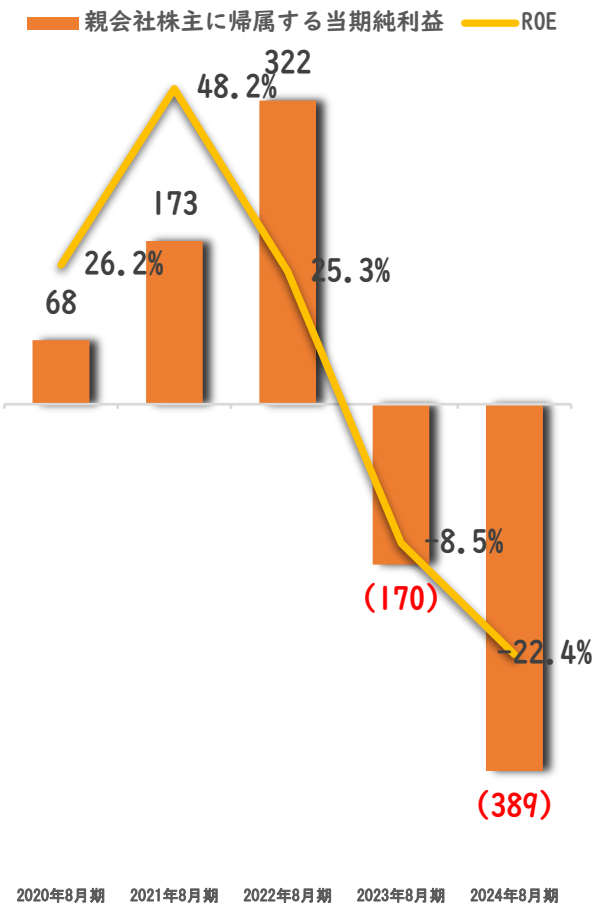
■ 売上高・売上総利益率



■ 営業利益・営業利益率

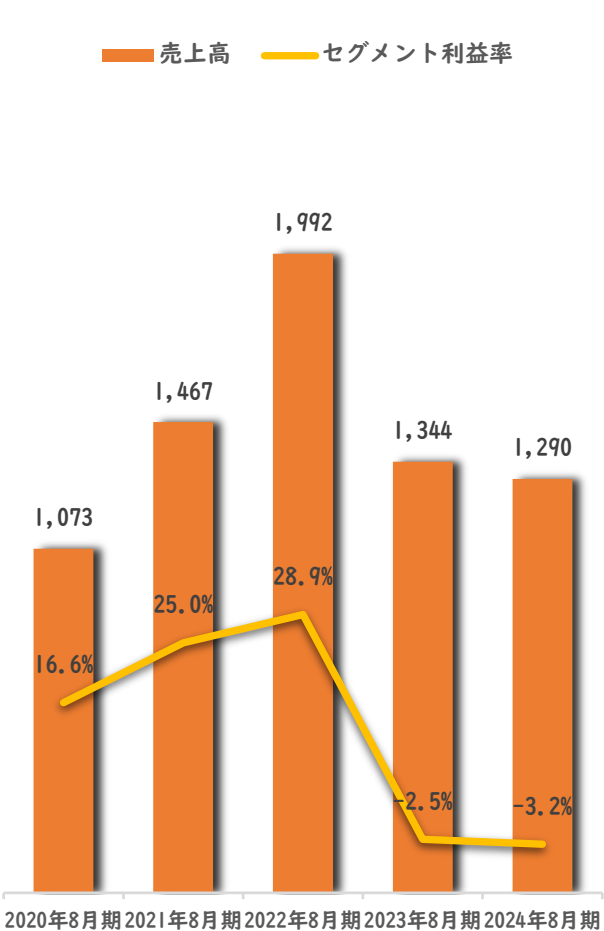


■ 親会社株主に帰属する利益・ROE

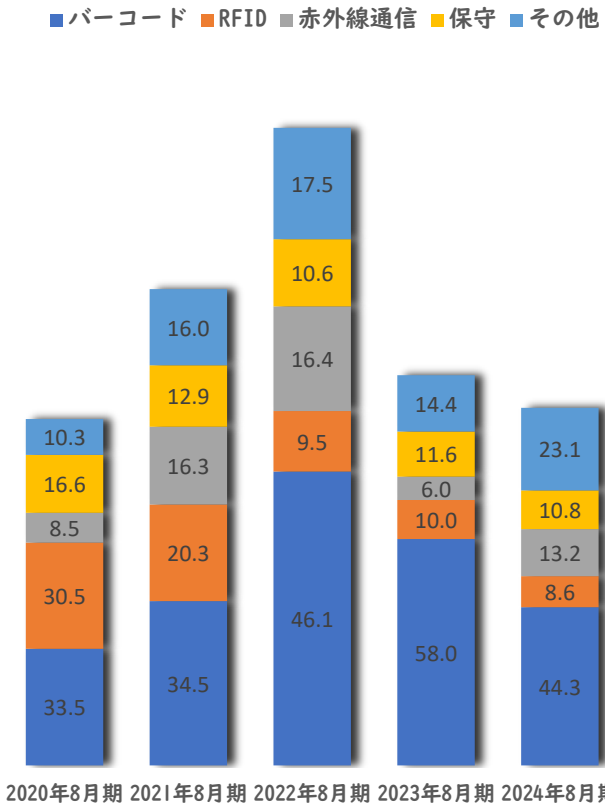


【連結業績推移ーセグメント別ー】

■ AsReader事業

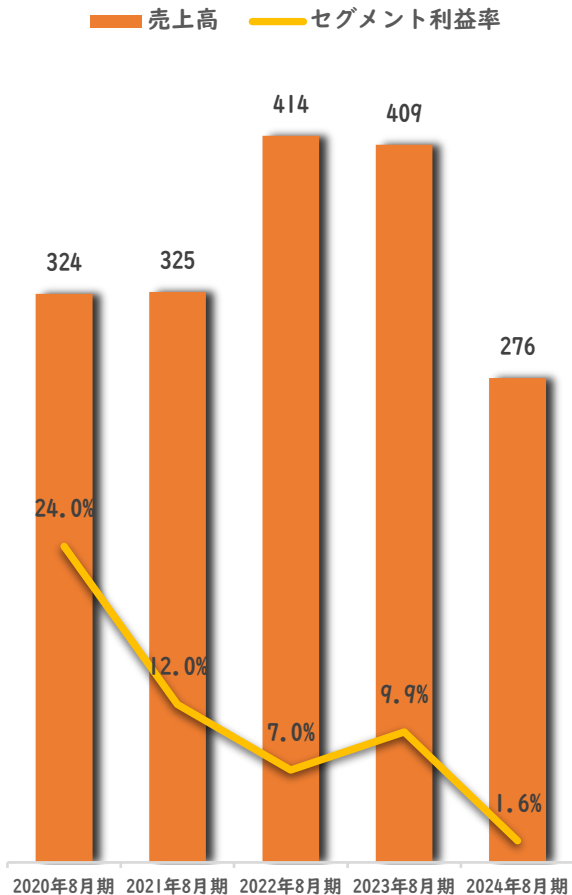


(参考)機種別販売割合



(単位：百万円)

■ システムインテグレーション事業



【連結業績推移－2024年8月期の経営成績－】

(百万円)

	2024年8月期 期末 (業績予想)	2024年8月期 期末 (当期実績)	(業績予想比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,813	1,578	▲ 235	▲ 13.0%
売上総利益	617	533	▲ 83	▲ 13.5%
売上総利益率	34.0%	33.8%		
営業利益	▲ 389	▲ 224	165	—
営業利益率	—	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 481	▲ 389	91	—
当期純利益率	—	—		

■業績予想比較について
売上高については、国内においては卸・小売業界向け案件、海外においては製造業界向け案件の受注獲得が、業績予想作成時において想定した数値程進まず、業績予想比13.0%減少の1,578百万円となりました。

営業利益については、販管費（主に人件費・支払手数料）の計画比減少があり、業績予想比+165百万円の▲224百万円となりました。

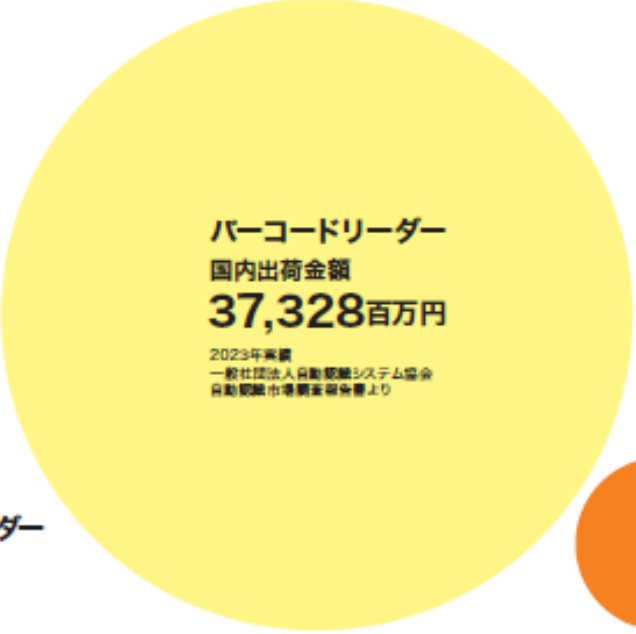
3. 市場環境



- バーコードリーダー市場は2023年度は**373億円の市場**があり約18%の成長。
大きな成長は見られないものの、**安定した規模で推移している**。
- 当社**国内バーコードリーダー売上実績**は、案件数は前期比で減少したものの、大型案件の獲得が実現した結果、**約58%増**となりました。引き続き案件の獲得に注力してまいります。

2022年度
バーコード市場実績

2023年度
バーコード市場実績



ハンディ型バーコードリーダー

スマートフォン利用型が拡大

競合する「専用機」

大企業から中堅企業まで
小売、物流、医療、製造
などで広く利用

スマートフォン 利用型

取り扱っているのは
世界でも数社

主にカメラ利用型
もしくは無線型
(Bluetooth接続)

AsReader[®]
スマホ一体型

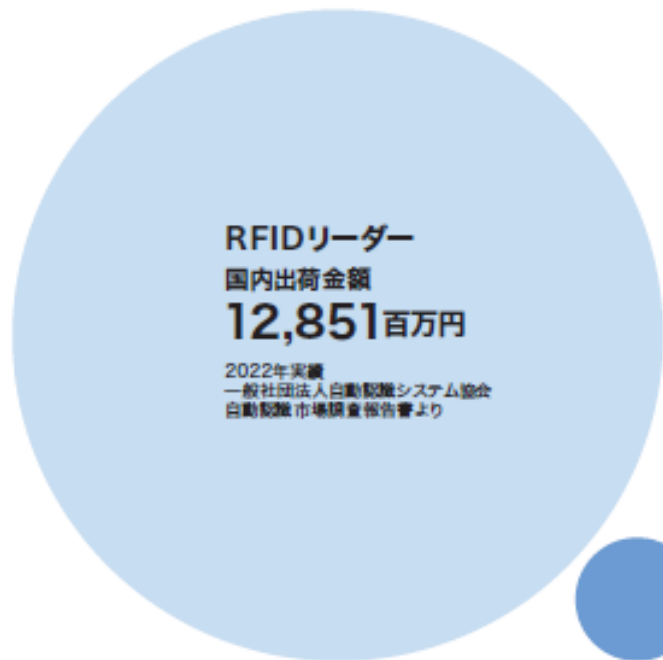
<当社製品が選ばれる理由>

- ・スマホとの一体型のため安定したデータ移管が可能
- ・小型、薄型 高速読取
- ・複数での一斉作業が可能
- ・タッチスクリーンによる操作性
- ・カメラ機能、メール機能などの業務利用が可能
- ・アプリの自由な開発が可能

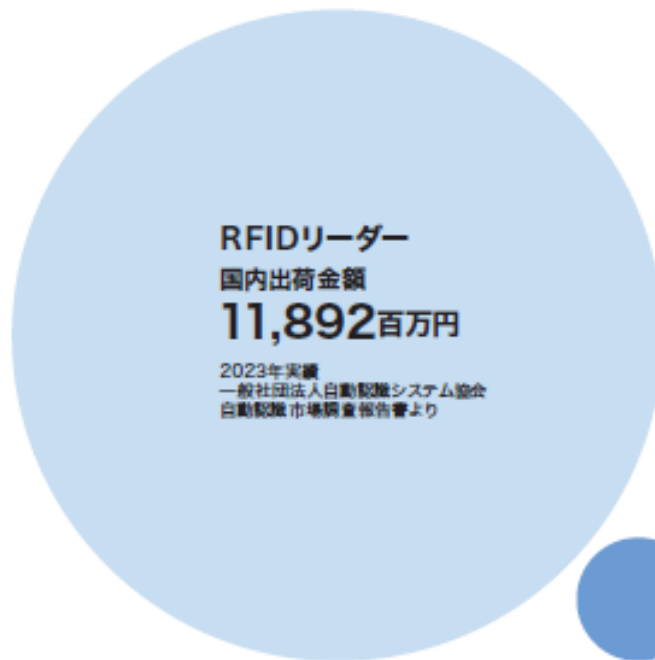
- RFID市場は2023年度は**118億円**の市場があり約8%の縮小。
2022年度比で縮小しているが、少なくとも今後も**安定した規模で推移すると予測**。
- 当社**国内RFID売上実績**は案件数が前期比で減少、平均顧客単価も減少した結果、**約22%減**となりました。さらなる案件獲得努力を行ってまいります。

2022年度
RFID市場実績

2023年度
RFID市場実績



アスタリスク
RFIDリーダー
国内売上実績
117百万円
2022年8月期実績より

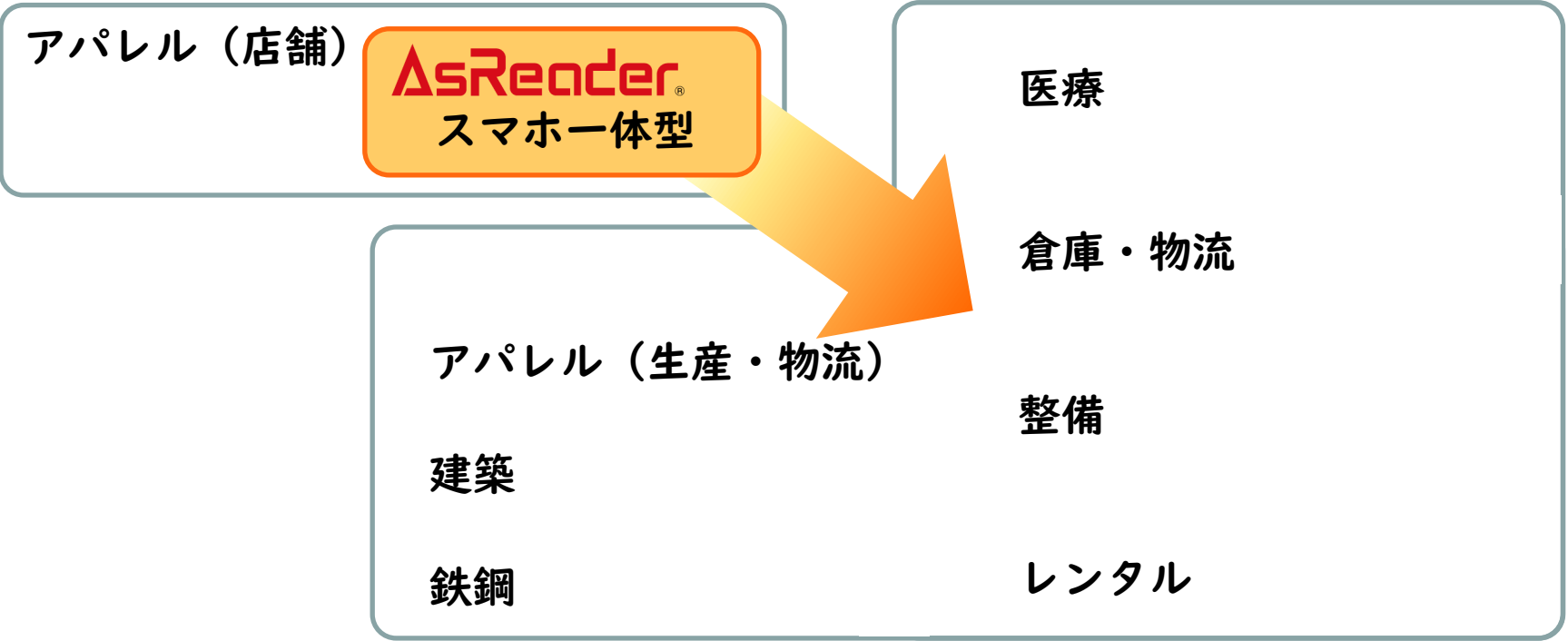


アスタリスク
RFIDリーダー
国内売上実績
91百万円
2023年8月期実績より

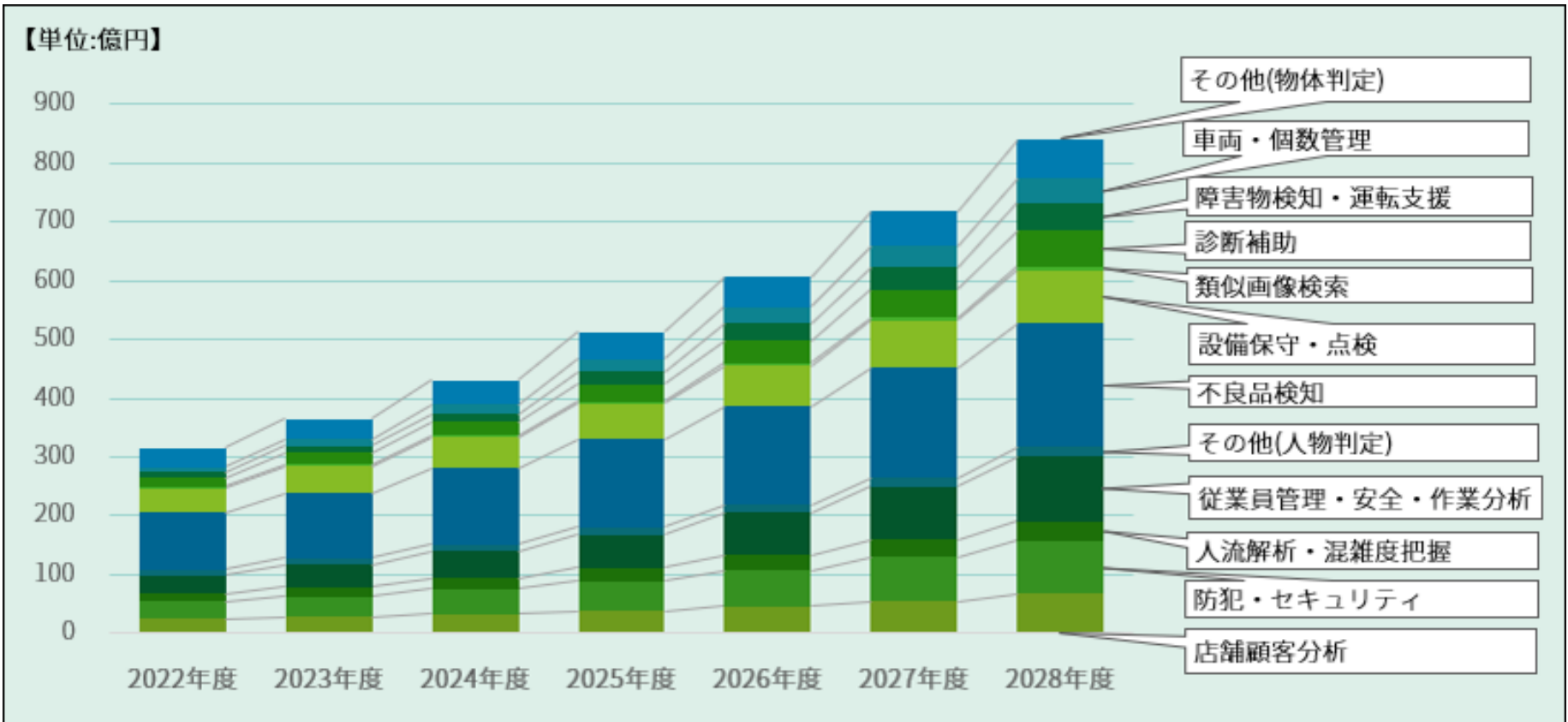
RFIDリーダー

日本ではメーカーは少なく、海外メーカーの製品が主流。
バーコードリーダーと同様スマホ利用型の拡大が見込まれる。
スマホ一体型のRFIDリーダーは当社のみ。

<業界別>



- 2023年度の市場規模は365億円（前年比115.9%）。
年率18.2%で成長を続け、2028年度には840億円に達すると予測されております。
- 当社製品としては、人追跡（人検出・動体追跡）技術や顔認証技術を活用した製品を展開して、同市場へ製品を展開してまいります。



用途別AI画像認識ソリューション市場推移(2022~2028年度) (出典: デロイト トーマツ ミック 経済研究所)

4. 成長戦略



2024年8月期 成長戦略

(1) 既存主力事業の拡大

イ あらゆる業界でのニーズ

AsReaderシリーズは、製造業界、物流業界、小売業界、自動販売機業界、医療業界、アパレル業界など、幅広い業界で導入が進みました。

ロ 各種専用業務用端末から汎用性の高いスマートフォンへの転換

専用コンピューターがパソコンに置き換わったように、ハンディターミナルのような既存の各種専用業務用端末(ハンディターミナル、デジタルカメラ、トランシーバー、PDAなどの各種リーダー)が汎用性の高いスマートフォンに置き換わり、スマートフォン1台で様々な業務を行うことが可能となり、「スマートフォンで業務を行う」ことが主流になることで、スマートフォンに取り付けて使用する当社グループの製品の導入機会が増加しております。

ハ スマートフォン法人利用台数の増加

次のような理由から、法人利用の携帯通信端末がフィーチャーフォンからスマートフォンへ切り替わっていき、スマートフォン法人利用台数が増加することを見込んでおります。当該増加により、スマートフォンに取り付けて使用するAsReaderシリーズの導入機会が増加しております。

① 国内携帯通信キャリアの動向

当社は国内携帯通信キャリアと協業した営業を行っております。その中で、当社製品のような業務効率化ソリューションの提案とともに、法人へのスマートフォン販売に力を入れている傾向にあり、国内携帯通信キャリアによる法人販売強化が続いております。

② 通信料金の低下傾向

大手国内携帯通信キャリアのサブブランドなどの登場により、スマートフォンの通信料金を抑えることが可能な環境になりました。

2024年8月期 成長戦略

(1) 既存主力事業の拡大

ニ 経済産業省による宣言

経済産業省が、2017年4月にコンビニ各社と「コンビニ電子タグ1,000億枚宣言」を発表し、2018年3月に一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会と「ドラッグストアスマート化宣言」を発表しており、RFID等を活用したサプライチェーンの効率化を推進する動きがあります。

またRFタグの単価が高価であることがRFIDソリューションの導入時の障壁となっておりましたが、RFタグの普及に伴い単価が低下してきており、当社グループのRFID関連製品の問い合わせ、販売が進んできております。

(2) 新製品の拡販

イ セミセルフレジ

「人検出・動体追跡」技術により、購買客が有人レジでの購買品登録後、複数設置された自動精算機のどれを選択しても、正しく精算することが可能になります。当該製品を導入することで、レジ係員の現金等の受け渡しといった負担が軽減され、動体追跡と精算データを紐付けることで、精算自動化の懸念点である不正精算(不払い)の抑止も可能にするソリューションです。

ロ 顔認証システム「AsReaderOne」

予め登録した「顔」を用いた認証システムになります。このシステムを用いることで、「顔」を使用して玄関の扉を開いたり、ポイントカード情報の確認や更新ができたり、クレジットカード等の各種決済ができるようになるため、キーレス・カードレスといったスマートIoTの製品を開発いたしました。2024年8月期中に拡販する体制を整備いたしました。

2024年8月期 成長戦略

(3) 営業力の強化

イ 伊藤忠紙パルプ株式会社との資本業務提携

2019年5月に伊藤忠紙パルプ株式会社との間で締結している資本業務提携を通じ、両社の持つ固有のノウハウを共有し、リソースを融合することで、顧客企業へのより広範なビジネスソリューションの創出・提供を行い、相互の事業発展とビジネスにおけるIoT、自動認識の新しい価値づくりを進めております。

ロ 国内携帯通信キャリアやスマートフォンメーカーとの協業

企業向けのスマートフォン販売促進を行っている国内携帯通信キャリアやスマートフォンメーカーとの協業を進め、当社グループの主力製品であるAsReaderシリーズの販売拡大を進めております。

ハ 営業体制強化

既存の展示会出展や大手キャリアとの協業に加え、新たな販売チャネルの開拓と、より効率的な営業活動を実現するための体制強化施策を進めております。

(4) 海外展開

海外におけるバーコードリーダー、RFIDリーダーの市場は国内よりも大きく、AsReaderシリーズの販売機会があることから、海外でのAsReaderシリーズ販売を目的とした連結子会社を米国(2015年1月)に設立し、現地法人による販売活動を行っております。

米国については、病院、警察署、消防署、国際宇宙ステーション、牧場など、多くの場所でAsReaderシリーズの導入を行っております。米国では大型案件を獲得した後、他の業界でも話題となり、他の業界での案件獲得が進みやすくなる傾向にあります。

①スマートフォン装着型リーダーの優位性

従来の専用機では特定の業務でしか使用できなかったが、スマートフォンを利用することで1台で複数の機能を使用することができ、さまざまな業務への活用が可能である。

スマートフォン普及率の増加に伴い、スマートフォンを活用した当社製品の導入可能性も高まっている状況にあります。

また、専用機より安価で入手できる点や操作性に優れている点もメリットとなっている。



(出典) 総務省「令和5年 通信利用動向調査」 情報通信機器の世帯保有率の推移 より

①スマートフォン装着型リーダーの優位性



スマートフォンが
選ばれる理由



最新のスマホを業務利用できる。
CPUの性能が高く、カメラ性能も
良い為、業務での活用の幅は無限



CPUやメモリ等の性能が低いものが
多く、スマホとして使いにくい
業務利用での活用の幅が狭い

専用機であるハンディとは比較にな
らないほど流通量が多い為、
高スペック製品を安価に入手できる



少数生産のため低スペックで高額

毎年最新のスマホが発売されて
おり、セキュリティの観点でも
OSも常に最新に更新可能



スマホにより専用機の市場規模縮小
ハンディ事業を撤退している企業も

流通量が多いので、修理できる
販売店も多い
スマホと一括保守サービスも有



修理できる販売店が少ない
導入台数が少ないことが多く、
1台故障すると業務が止まる

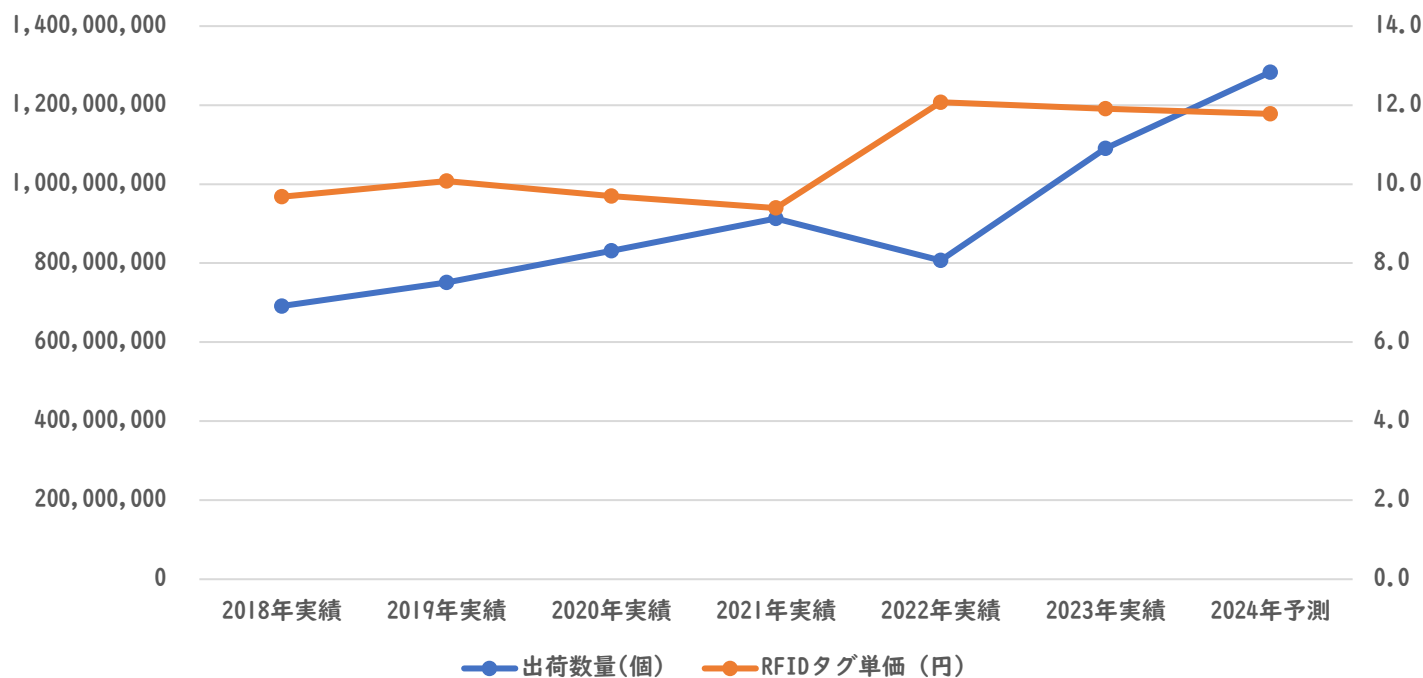
専用機が続々とスマートフォンに置き換えられています！

②RFID化の流れ

RFIDタグの単価は、現在10円/枚前後で価格は安定しております。発行枚数の増加に対してタグの単価は緩やかな低価格化となっており、これは金属タグや防水タグなどの専門性の高い特別なタグの出荷数量の増加の影響と考えております。

RFIDを利用した業務の自動化・効率化のニーズが高まるものと予想しております。

UHF帯RFIDタグの出荷枚数と単価の推移



出展：一般社団法人日本自動認識システム協会

◆画像認識ソリューション - 顔認証



アスタリスクの顔認証

顔認証は、端末のログインから入退場管理、
決済、会員証とそのポイント管理まで、
幅広い用途で活躍しています。
安心の「未来」を「今」体感してください。
新しい時代のスタンダードを、顔認証が切り拓きます。

◆リニアモーター技術



商品名：AsReader HAKOBU（アズリーダーハコブ）

商品の概要：リニアモーターを備えたパネル状の「基盤部」と荷物などの物品を搬送するための「トレー部」とで構成されます。コントローラは、基盤部に配置したそれぞれのコイルを制御することによりトレー部を稼働させます。

基盤部の特徴：リニアモーターを組み込んだ基盤部は、臨機応変に組み立てて設置が可能なように「タイル状」として提供を予定。搬送するためのトレーは電源などをもたないため充電の必要性なども全くなく縦横に加え回転運動をすることが特徴であり、かつ複数を同時コントロールが可能です。

◆さまざまなキャリアやスマートフォンメーカーとの協業

2024年8月期においても、大手キャリア様との協業による当社製品の拡販を行ってまいりました。2025年8月期も引き続き大手キャリア様との協業体制を強化してまいります。

またAndroid関連製品にも力を注ぐべく、Androidスマートフォンメーカー様との協業体制の強化も行っております。

◆効率的、効果的に営業活動を行うための支援体制の整備

営業支援を行う部署の設置、営業支援ツールによる指標管理、活動状況の一元管理など、営業活動を効率的、効果的に行う施策を実施しております。

◆WEBマーケティング施策

自社の特徴及び周辺環境を客観的に把握するための分析を行うことができるような会社ホームページの見直しなどを実施してまいります。

海外拠点

アメリカに販売拠点を設置し、海外でも積極的に販売展開を推進



- 2012 /5 中国・大連市にモバイル端末用システム開発拠点として、大連明日星科技有限公司を設立
- 2015 /1 米国・カリフォルニア州にAsReaderの海外販売拠点として、AsReader, Inc. を設立（後にオレゴン州に移転）
- 2017 /10 中国・深圳市に研究開発の技術センターとして大連明日星科技有限公司深セン分公司を設立

海外での成長要因・競争優位性

大型案件の受注による水平展開

◆ 大手飲料メーカー

大手飲料メーカーで商品管理用としてバーコードリーダーを導入



◆ 警察

IDカードのバーコード読み取りによる個人管理と入退室管理で使用



◆ 国際宇宙ステーション

国際宇宙ステーション内で備品がそろっているかのチェック、モノ探しにGUNタイプのAsReaderを使用



◆ 牧場でのLF帯RFIDリーダーライター

耳にLF帯のICタグ



牧場で家畜の個別識別管理に活用

◆ 消防署

欧州域内の鎮火後の消火現場での備品管理用として使用
世界最大規模の消防車開発会社で、製造されている消防車にパッケージされた形で展開



5. 事業計画

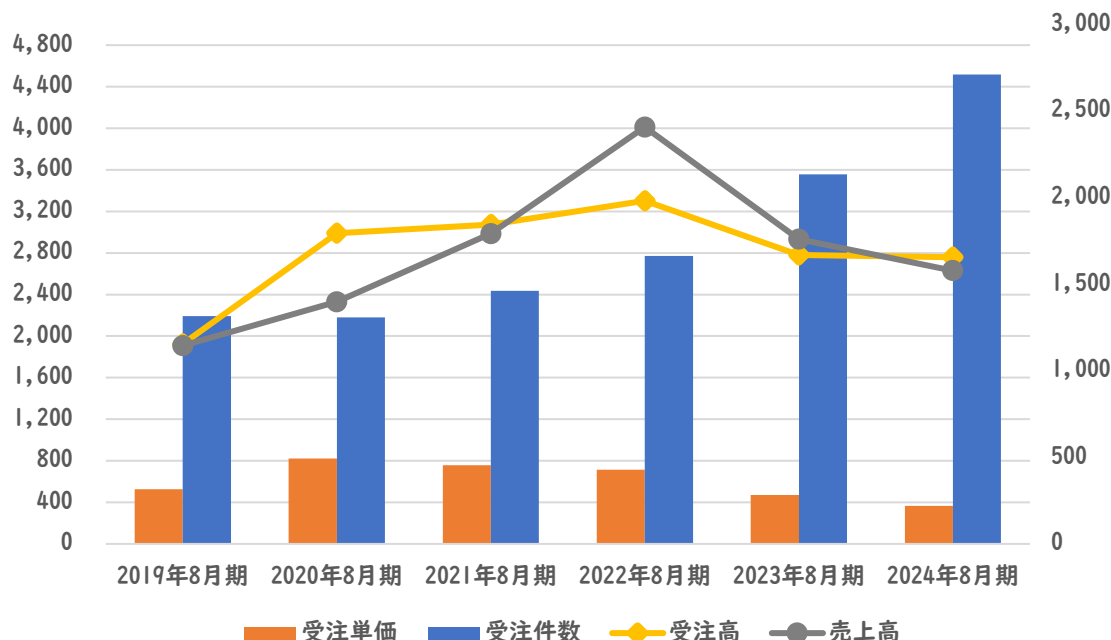


当社グループでは受注高をKPI(Key Performance Indicators)としております。

当社グループ製品に対する将来需要を表す尺度であり、将来業績の先行指標として機能し、今後の経営成績と強い関連性があります。将来業績にとって重要な指標であり、事業活動におきましても常に受注高を意識して行動し、当社グループの業績評価の指標としています。

受注高=受注件数×受注単価(注)であることを常に念頭におき、「受注件数」をいかに増やし、「受注単価」をいかに上げるかを、営業活動の行動規範としています。また、これら構成要素を分析して、現状認識、課題確認、戦略立案に活用しています。

受注件数・受注単価・受注高・売上高



■2024年8月期は、前期比で次のとおりになりました。

- ・受注単価 前年比△19.8%
- ・受注件数 前年比+27.6%
- ・受注高 前年比+ 2.3%

大型案件が景気等の影響で延期になったことなどから受注高、受注単価は前年比減少となった反面、中小規模の案件の獲得は堅調に推移した結果、受注件数は前年比増加となりました。

バーコードリーダーをメインに、他の既存製品、新製品群の拡販を進めてまいります。

(注)受注単価：受注高÷受注件数により算出される、平均受注単価になります。平均受注単価を追うことにより、当社グループの獲得案件についての分析(案件の大型化・小型化など)を行うことに活用しております。

【損益状況】 2024年8月通期

(百万円)

	2023年8月期 期末 (前期実績)	2024年8月期 期末 (当期実績)	(前年同期比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,759	1,578	▲ 181	▲ 10.3%
売上総利益	566	533	▲ 32	▲ 5.7%
売上総利益率	32.2%	33.8%		
営業利益	▲ 192	▲ 224	▲ 32	—
営業利益率	—	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 170	▲ 389	▲ 219	—
当期純利益率	—	—		

■前年同期比較について
国内においては小売業界など
様々な業界への納品が進んだもの
の、前年同期比5.2%減少
1,445百万円となりました。
海外においては、米国での販
売が前年同期比増加を見込んで
おりましたが、飲料メーカーへ
の追加納入があった反面、いく
つかの新規大口案件の商談が進
展していたものの、2024年8月
期中の納品まで進めることは叶
わず107百万円となりました。
この結果、売上高は前年同期
比10.3%減の1,578百万円とな
りました。

2024年8月30日取締役会において、2024年9月17日付での新株予約権の発行決議を行いました。現時点での行使価格により新株予約権のすべてが行使された場合、676百万円の資金を調達することになります。

本件の調達資金に資金使途については、以下を予定しております。

調達資金使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
新製品の研究開発資金	200	2024年10月～2026年8月
新製品の製造資金	450	2024年10月～2025年8月
営業力の強化施策資金	26	2024年10月～2025年8月
合計	676	—

6. リスク情報



	主なリスク	発生可能性	影響度	対応策
事業全般	当社グループの主要な市場である国及び地域の経済環境、社会的及び政治的動向、景気後退による個人消費や民間設備投資の減少によって、当社グループが提供する製品・サービスの需要の減少や価格競争に進展する可能性があります。	低	中	優位な品質とコストを実現するための革新的な新技術の確立を目指しており、特許出願も進めてまいります。
海外生産	当社グループの主力製品AsReaderシリーズは、大半が海外企業のEMS生産となっており、Apple製品用の機器はAppleのMFi認証の認定工場である韓国のSPS社のみ生産が可能です。当該生産拠点においては、予期しない法律や規制の変更、経済的変動及び政治的混乱等のリスク、地震など大きな災害発生リスク、委託企業の経営悪化による生産への影響リスクが存在いたします。	低	大	委託先企業との良好な関係の構築、維持に努めること、生産拠点の分散、生産技術の蓄積、自社生産のノウハウ獲得などの対策を講じてまいります。
品質に関するリスク	当社グループは、新製品も断続的に上市していくこととしています。このような状況下で、従来の知見にない品質上の課題が発現し、当該トラブル解決のための費用発生や品質に起因する販売の遅れ、従業員の人為的ミスまたは不測の事態の発生等による保守・製品保証に関する費用の発生などにより当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。	中	中	新製品について様々な角度から検証を行い評価する時間を踏まえたプロジェクト管理を行い上市の遅延による損失の回避を行ってまいります。

※事業等のリスクについて、有価証券報告書「第一部企業情報 第2事業の状況 3事業等のリスク」に掲載のリスクの中から、当社が特に重要と考えているリスクを抽出して記載しております。その他の事業等のリスクについては、有価証券報告書「第一部企業情報 第2事業の状況 3事業等のリスク」に記載しております。

下記、取得済み特許の他、出願中の特許も多数

■国内特許

ステータス	対象範囲
特許成立	Magconnの充電がついたリーダー
	キーボードアプリでのバーコード制御ができる
	2つ以上の媒体のカバーを変えることによって使える
	AsRingとしての役割。
	棚卸しをするときに複数台で登録できる仕組み。
	指差しでのリードユニット。Finger AsReader。
	外付けレーザーユニット。
	読取精算分離
	買い物カゴに取り付けるリーダユニット
施解錠システム、及び施解錠装置	
出願中	31件
特許譲渡済み	6件

■外国特許

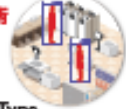

ステータス	対象範囲	PCTルート：移行国、パリルート：出願国
PCTルート	AsRingとしての役割。	米国（成立）/欧州（出願中）
	外付けレーザーユニット	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（出願中）/韓国（成立）
	RFID棚。電波遮断のための棚の改良。	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（成立・実用新案）/韓国（成立）
	指差しでのリードユニット。Finger AsReader。	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（出願中）/韓国（出願中）
	AsLock	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（出願中）/韓国（出願中）
	Finger-Type	米国（出願中）/欧州（出願中）
	パスポートリーダー	PCT出願のみ
	3枚羽のアンテナ	PCT出願のみ
パリルート	バズーカータイプ	PCT出願のみ
	2つ以上の媒体のカバーを変えることによって使える。	米国（成立）
	AsRingとしての役割。	中国（出願中）/中国（成立・実用新案）

PCTルート：特許協力条約（PCT:Patent Cooperation Treaty）に基づく国際出願であり、日本国特許庁等の指定官庁に対して出願手続きを行うことにより、条約加盟国全てに同時に特許を出願したのと同じ効果が得られる。

パリルート：パリ条約に基づいて、権利を取得したい国に個別にそれぞれ出願する方法

2013	10	● AsReader 誕生! AsX-100R発売	
2014	07	● RFIDリーダーライター登場! AsX-300R/AsX-30RT発売 (ジャケットタイプのAsReader)	
	08	● AsX-510R発売	
2015	01	● AsX-520R発売	
	06	● DOCK-Type iPhone本体サイズのバリエーションに対応! AsR-010D/ AsR-020D発売	
	10	● AsR-030D発売	
2016	10	● AsReader Conference 2016開催	
	11	● 画像認識技術 研究開発開始	
	12	● RFIDリーダーライターとバーコードリーダーの1台2役が登場! AsR-0230D/ AsR-0240D発売	
2017	03	● HID入力も可能な卓上タイプのRFIDリーダーライター AsR-P30U発売	

2017	05	● 10m級の長距離読み取りも可能な、GUN-TypeのAsReader AsR-R250G発売	
	08	● RFIDモジュールとアンテナを分離した筐体タイプのAsReader AsR-P50N発売	
	12	● Android用DOCK-Typeバーコードリーダー AsR-A110B発売	
2018	04	● バーコードのソフトウェアデコーダー。iPhoneがそのままバーコードリーダーに! AsReader CAMERA-Type発売	
	10	● CAMERA-TypeにOCR機能が追加	
2019	01	● RFID Reading Tubのベースとなる読み取り装置の特許取得 (特許6460758号)	
	05	● As Force発売	
	09	● AsR-P31N発売	
	11	● AsR-L251G発売	
2020	02	● AsR-P51N発売	
	03	● Android用 DOCK-Type RFIDリーダーライター AsR-A30D-V2B発売	
	04	● FINGER-Type AsReader AsR-0238B発売	
	06	● 長距離2Dバーコードリーダー AsR-R202G発売	

2020	08	● ASK選定で自販機と連携が可能に! Android用ASKリーダー AsR-A80D発売	
	08	● AsBeacon AS-A-401T発売	
	08	● AsReader Conference 2020開催	
	10	● 動作認識技術の開発に成功	
2021	03	● 動作認識技術を活用したセルフレジを発表	
	06	● Wire BOX-Type AsR-032W発売	
	07	● 画像認識による特定エリアへの侵入検知 AsWatcher発売	
2022	04	● カメラの映像情報を用いた人物追跡 AsRegi+発売	
	04	● Android端末のバーコードリーダー AsR-A24D発売	
	04	● 「人物特定&認証」のクラウドサービス AsReader One発表	
	05	● AsReader Care SELECT提供開始	
	06	● Count Pearl/Count Pipe カウントアプリ発売	
	10	● AsReader GoMA発売	
2023	02	● 高い場所、階間などの読み取り PADBLE-Type AsR-P252B発売	

2023	09	● セルフタイプの店舗DXの実証店舗 こがね製菓 草津東本店 オープン	
	12	● スマートフォンのカメラでバーコードを読み取るソフトウェア AsReader CameraX 発売	
2024	01	● パソコンやタブレットに直接接続する薄型モデル AsReader DESKTOP MINI AsR-P35U 発売	
	01	● RFIDリーダーライターの超小型版 多くの種類のアンテナを取付可能 AsReaderBOX MINI AsR-P37U 発売	
	01	● 凹部の中のタグのみを読み取る、アンテナ・リーダー内蔵のReading Tub小型モデル AsR-P36NA 発売	
	05	● AsReader Conference 2024開催	
	05	● 資材管理専用アプリSdcO 発売 (エスデコ / Simple data check OCR)	
	09	● 顔認証端末 AsReader GoMA Professionalの発売	

● バーコード ● RFID ● 画像認識 ● イベント ● その他

MORE

DXをさらに進化させるAsReader

IoT × **AsReader**® 

「モノ認識」と「モバイル」を中心に
IoTで世界を変える

アスタリスクはIoTを中心にお客様の業務をよりよく改善する
お手伝いをさせていただきます。

株式会社アスタリスク